



OYISの子どもたち (CHRISTMAS CONCERTにて)

インターナショナルマインドを身につけて成長する子どもたち

～グローバル教育実践の現場から～


 大阪YMCAインターナショナルスクール
校長 John Murphy

近年よく使われるグローバル化という言葉には、肯定的な意味と否定的な意味の両方があるようですが、私は、インターナショナルスクールでの勤務経験を通して、多様な国々のスタッフや生徒、またその家族と仕事を共にする機会に恵まれ、彼らの特色に富んだ文化や思考、視点を通して様々な価値観を学ばせていただきました。さらに、多種多様な価値観やバックグラウンドをもつスタッフ、それぞれの視点から一つの目標を達成していくという素晴らしいプロセスをも経験してきました。

本校、大阪YMCAインターナショナルスクール(以下、OYIS)は、大阪YMCAという大きな組織の一員であり、世界のYMCAとも繋がりががあるので、「グローバル市民として平和のために行動する」というYMCAの目標に貢献する機会を与えられています。また、本校は、国際バカロレアプログラム(IB)認証校でもあり、「インターナショナルマインド」を持つということは、私たちのDNAの一部であると言えます。しかも、YMCAの「思いやり」「誠実さ」「尊敬心」「責任感」というキャラクター・ディベロップメントは、インターナショナル・バカロレアのLearner Profile(望まれる学習者像)を通して国際感覚を育むことも見事に合致しています。Learner



OYIS クリスマス街頭募金にて

Profileは、本校での教育活動全ての中核であり、YMCAの哲学とも呼応するところがあります。実際、私たちは、多様な国籍を持つ皆さんと共に、日本文化のルーツに敬意を表現しながらもグローバルな視点を育むことに日々努めています。

IB PYP(幼・小学校課程)は、生徒が学んだことを実際の行動で実践するよう促しています。このことは、YMCAが若者たちに地域や国内あるいは国際的なレベルで貢献することを願うのと同じです。現在、本校の5年生は「エキシビション」と呼ばれる特別な探

究学習に取り組んでいます。エキシビションは、小学校課程の仕上げに位置づけられており、生徒がPYPの学びを修了したことを祝うものでもあります。生徒たちは、その学習単元の本質が、今ある生活の大切な局面や将来にどのように応用できるかを考え、より良い結果をもたらすためにどのように行動すべきかを自由に探求していきます。このようなOYISでの教え方や学び方は、世界の若者に手を差し伸べ、彼らに世界を舞台に行動するため意義深い経験を提供するYMCAの壮大なミッションに貢献するものです。

関西の国際コミュニティは大変ダイナミックで前向きなものです。私は、OYISがこのグローバルな視点を更に発展させることができると信じています。日本インターナショナルスクール協議会(JCIS)、日米協会(JASO)、米国海外・極東地域学校協議会の加盟校でもある本校は、YMCAの哲学を地域、国内、国際的なステージで表すための好位置にあると言えます。生涯学び続けるこの旅を続けながら、本校は大阪YMCAの一翼として、メンバー・生徒間の強い絆を育み、若者がよりよく生きるために、また、かつてない程世界で求められている「インターナショナルマインド」を促進するために、弛まぬ努力を続けていきます。

INDEX

・インターナショナルマインドを身につけて成長する子どもたち	1P
・多様性の中で自分の可能性を広げていく子どもたち ～YMCAのこども教育における グローバルの取り組みの実践と成果～	2P
・YMCAでの学び ・香港中華YMCAでの1年間 ・ネパール地震緊急支援募金のお願い	3P
・食育コラム ・松岡慶一さん「憲法記念日知事表彰」受賞 ・松野五郎さん「瑞宝双光章」叙勲 ・早天祈禱会 ・会員 ・賛助会	4P

大阪YMCAの使命

- 大阪YMCAは、聖書に示されたイエス・キリストの愛と奉仕の生き方に学び、YMCAの世界的な運動に連なり、希望を持って、共に生きる社会の実現をめざします。
- ボランティア精神をはぐくみ、互いに協力し、明るくあたたかい地域社会の形成に努めます。
- すべての世代のひとびとが、出会いと生きがいを見いだすための、生涯にわたる気づきと学びの活動を展開します。

- 未来を築く力強い子どもたちを、家庭・地域社会と共に育てます。
- 生命を尊重する心を養い、自然と人間が調和する働きをすすめます。
- 世界の人のひとと力を合わせ、環境、人権、貧困の課題に取り組み平和で公正な世界をめざします。

発行：末岡祥弘 編集：大阪YMCA広報室
〒550-0001 大阪市西区上瓦町1-5-6
TEL 06-6441-0894 FAX 06-6441-0297
大阪YMCAのホームページでその他の情報をご覧ください。
URL: <http://www.osakaymca.or.jp/>

日本で

多様性の中で自分の可能性を広げていく子どもたち

～YMCAのこども教育におけるグローバルの取り組みの実践と成果～

大阪YMCAインターナショナルスクール スタッフ Dwayne Primeau

YMCAは、誇りを持ってグローバル教育の分野におけるリーダーの役割を果たしています。そして、大阪YMCAインターナショナルスクール(以下、OYIS)での教育は、その主な取り組みの一つです。OYISでは、生徒達がグローバル化された世界で生きていくための方法を学んでほしいと考えています。以下は、そのために私たちが実践していることの例です。

地球市民であることを教える前に、生徒達が自分自身を知ること教える必要があります。このコンセプトはIB PYP(国際バカロレアプログラム)のうち3～12歳を対象としたプログラム)の根幹をなすもので、6教科の横断的テーマの1つ“Who We Are”というユニットで学ぶこととなります。このテーマでは、自分は誰なのか?どこから来たのか?個人的関係は?地域は?共同体は?世界の中ではどうか?に焦点が当てられます。低学年から高学年を通して同じテーマで学習し、学年が上がるにつれてより深く、自分について、そして周りの多様な文化を背景を持つ仲間

について学んでいきます。OYISでは、教員も生徒も世界の様々な国から来ているので、生徒たちは、幼い頃から自分の周囲の世界に対して、とてもユニークな洞察力を持つようになります。

また、グローバルマインドを養うため、地域的にも世界的にも生徒達が競い合える環境にあります。この5月に本校中学生は、World Scholar's Cupというイベントを通して、地域のインターナショナルスクールと一堂に会し、知識・学力を競う機会に参加しました。結果、優秀な成績により、クワラルンプールで実施される世界大会で世界中のインターナショナルスクールと競う機会を得ました。

これらの例から、OYISでは地域、また世界的観点から、移りゆく世界のニーズを理解し、生徒達が社会のグローバル化とともにやって来る将来のチャレンジへの備えができるように、日々努めていることをご理解いただけるでしょう。



認め合い、共に生きる世界を目指して

YMCA松尾台幼稚園 スタッフ 松本 由樹

YMCAの幼稚園では、年間を通して様々な関わりを持ちながら、以下のように重点を置きグローバル教育を行っています。

- ・様々な国の言語や文化に触れることで、世界には多種多様な国や文化の中で生活をし、考え方や価値観の違った人たちがいることを知る。
- ・世界に目を向け、違いを受け入れ、共に歩いていくことのできる心を育む。

年長組では、保護者でイタリア出身の方にボランティアの協力を依頼しました。イタリア語の“きらきらぼし”の歌と挨拶を教えてもらったり、手作りの写真カードやお仕事の関係で作成されたイタリアのCM動画を通して、イタリアの文化や有名な建物、人気のキャラクター、クリスマスの過ごし方などを丁寧に教えていただきました。今まで取り組んできた挨拶や“きらきらぼし”の歌を聞いてもらったり、最後にはお礼にイタリア語で“Happy birthday”の歌を教えてもらったりと、お互いに有意義な時間となりました。

また、韓国に出向していたスタッフから韓国語を、香港中華YMCAのスタッフから広東語を教えてもらい、その集大成として、年度末行事である“はるまつり”(生活発表会)で、取り組んできたイタリア語・韓国語・広東語で歌を披露しました。後日、ボランティアの保護者の方から、「言葉が通じなくても一生懸命、心を込めてイタリア語を覚え歌っている様子に感動した」との感想をいただき、子どもたちにとって自信を得る機会となりました。

これからもグローバル教育という手法を通して、楽しみながら、世界では多様な生活が営まれていることや、言葉が通じなくてもわかり合えるということを伝えていくことを日常保育で積極的に実践していきたいと思っています。

そして、グローバルイシュー(地球社会の課題)に目を向け、「共に生きる」ことの意味を考え続けていくことのできる、世界の平和を願う市民として子どもたちを大きく育てていきたいと考えています。



英語幼稚園におけるグローバルの取り組みについて

大阪YMCA英語幼稚園 スタッフ 上床 敦



英語幼稚園では天王寺園が開園から3年目、土佐堀園が開園から2年目を迎え、両園で合計59名の園児が毎日元気に通っています。園児を見ていると入園後のかなり早い時期から、英語が話されていることを理解しているようです。個人差はありますが、3歳くらいから英語での発話量も増え、私たちスタッフにも英語で話しかけてくれるようになります。

英語幼稚園の保育・教育自体がグローバルなものです。世界にネットワークをもち、様々な年齢の人たちが学んでいるYMCAならではの取り組みもしています。昨年、天王寺園ではシンガポールYMCAから2名のインターンシップを受け入れ、クラスでシンガポールのことを教えてもらったり、一緒に英語学習やゲームをしたりしました。また、園児の家庭でホームステイもしてもらいました。園児との関わりも非常に深くなり、園児にとってもインターンにとっても非常に有意義な学びの場となりました。今年は、両園それぞれ2名ずつの海外インターンシップの受け入れを計画しています。また土佐堀園では、英語を学んでいるIHS(国際専門学校国際学科)の皆さんに、英語でクリスマスストーリーを披露してもらいました。

これからもYMCAのネットワークを生かして、普段接している外国人の先生だけではなく、様々なバックグラウンドの人たちと英語で触れ合う機会を作っていけたらと願っています。そして将来的に単に英語ができる人ではなく、異なる文化・思想・宗教・価値観を持つ人を尊重し、自分と他者を大切に、それらの違いを受け入れたうえで、自ら考え、判断し、行動できる人に育ってくださることを願っています。



世界で

YMCAでの学び

大阪YMCA国際専門学校 国際学科 卒業生
世界YMCA同盟 チェンジエージェント
やまうち たくま
山内 沢真

私がYMCAと出会ったのは、3年前の4月、大阪YMCA国際専門学校国際学科(インターナショナルハイスクール、以下IHS)に入学した時です。英語を学びたかった私は、国際学科という言葉に惹かれ、YMCAについて何も知らないまま、その活動に関わるようになりました。それ以来私は、IHS生としての日々を過ごしながら、YMCAが提供する様々なプログラムに参加し、普通の高校では経験できないような学びを深めてきました。大学生を送る今もYMCAの活動には変わらず参加していて、今春からは世界YMCAのチェンジエージェント*としても活動しています。

これまで私はYMCAで、異なる背景を持った人々に出会い、自分に無かった新しい考え方に触れてきました。特に積極的に取り組んできたのは、海外YMCAとの国際交流です。IHSで培った英語力を試してみたかったので、大阪YMCAで機会があるたびにできるだけ参加してきました。それらの経験から得たものは、「地球市民としての感覚」と総括できると思います。

YMCAには国や文化の違いを問わず、平和を願う心といった、より普遍的な信条を共通項とする人たちが集っています。彼らとの交流を

通じて、日本人としての視点からだけでなく、より広い視野から物事を捉え行動する、地球市民としての考え方が身につきました。また、そういった意思を共有する人たちが、世界中に存在しているということを知れたのも、YMCAでの経験を通じてです。私の世界観は、この気持ちによって大きく変わりました。大学で国際関係の学部に進んだのも、このYMCAでの経験から、将来国際的に活躍したいと思うようになったからです。

YMCAで多くを学んできましたが、地球的課題を解決するとすると、私はまだまだ力不足です。今後はチェンジエージェントとして、世界中の同志と協力しながら、実際に世界を変えていける力を身に付けたいと考えています。そしてその経験から得たものを、大阪YMCAの皆さんと共有し、大阪YMCAと世界YMCAをつなぐ架け橋として活躍していきたいと思っています。

*チェンジエージェント…各国YMCAのユース代表、今後のYMCAや世界の担い手。



2014年夏、Global Festivalにて(左端が山内さん)

アジアで

香港中華YMCAでの1年間

YMCAしるがね幼稚園 スタッフ 植村のぞみ

約1年間の香港中華YMCAでの出向を終えました。着任当初は英語も広東語も全く聴き取れず苦戦していた私に、YMCAのスタッフをはじめ、特別講師の先生、幼稚園の先生方がとても親切に関わってくださいました。私が伝えた単語を使って一生懸命コミュニケーションをとろうとしている姿を、本当に素晴らしいと感じました。幼稚園のカリキュラムは、日本と香港で全く違い、驚きの連続でした。それでも、日本の幼稚園を少しでも知ってほしい、興味をもってほしいという願いから、日本と香港でスカイプを使用した会話や、手紙を交換することが実現しました。

また始まったばかりの、今回の交流。海を越えての交流が、香港だけでなく多方面へ繋がっていただけたらと願っています。また、香港在住の日本国籍の子どもたちが、日本語や文化を日本語

で学ぶ日本人補習校でも活動しました。ここで、私は日本語を話すことのできる楽しさを実感するとともに、日本語を伝えることの難しさも学びました。この体験を大切に、これからも新しい学びに繋げていきたいと思っています。

香港では、各国から来た様々な方が生活しています。その中で生活している子どもたちは、これからきっと豊かな経験と視野を持つていくのだと感じました。

今回の出向で、何事にも挑戦していく大切さ、人との関わり方を改めて学びました。出会ったたくさんの方や、サポートしていただいたYMCAに感謝しています。



本の読み聞かせをする植村さん

共に生きる

ネパール地震緊急支援募金のお願い

4月25日にネパールで発生した地震では、死者は8700人を超え、生き残った方々も水や食料などが不足し、過酷な生活を強いられています。カトマンズ近郊にあるネパールYMCAでは、緊急支援と中長期復興支援の両方を計画しています。これを受け、世界YMCA同盟から各国のYMCAへ緊急支援募金の呼びかけが行われています。ネパール地震緊急支援募金に、ご協力お願いいたします。

支援活動内容

1. ネパールYMCAによる物資の配布等の緊急支援および復興支援
2. 日本国内のYMCA日本語学校・専門学校に通う、震災の影響を受けたネパール人留学生の支援



【募金期間:2015年6月30日(火)まで】

問合せ 大阪YMCA 本部事務局
TEL 06-6441-0894 E-mail: info@osakaymca.org

お近くのYMCAまたは三菱東京UFJ銀行 大阪為替集中支店

普通預金 No.0230070 [名義]公益財団法人大阪YMCA 加(ザイ)材(カ)イ(ム)シ(エ)
*通信欄に「ネパール支援」と明記ください。(大阪YMCAへの寄付金は、寄付金控除の対象となります)

夏の水分補給は食事から

YMCAサンホーム スタッフ おおしかずひで **大石 和秀**

じめじめとした梅雨からざらざら太陽が照りつける夏にかけて、急に暑くなってこの季節に気を付けたいのが「脱水症」や「熱中症」です。

なぜ水分補給が必要なの？

暑い日が続く夏は、体温を下げるため汗の量が増えます。失った水分を補給しなければ、体内の水分が不足して「脱水症」や「熱中症」の原因になります。また、体内の水分が減ると血液が濃くなりドロドロになってしまうため、「脳梗塞」になる可能性が高くなります。

一日に必要な水分量

乳児1日1350ml、幼児1500ml、成人2500mlが必要な水分量の目安です。高齢者は、成人の8割を目安に水分補給が必要だと言われています。

効果的な水分補給

成人一日2500ml、一日に必要な水分をすべて飲み物から摂取しようと考え、なかなか大変な感じがしますね。冷たい飲み物ばかり飲んでいると胃腸に負担がかかり、夏バテの原因にもなります。一日三食の食事をきちんと食べることができれば、およそ1.5ℓ分の水分を無理なく摂取することができるといわれています。

夏におすすめの食事とは

具だくさんの味噌汁や野菜スープを食卓に

味噌汁やスープは、水分だけでなくビタミンやミネラルも合わせて摂取できます。冷房で冷えた体も温まります。

スイカは天然のスポーツドリンク

スイカは90%が水分。カリウムやカルシウム、リンといったミネラルがスポーツドリンクとよく似た割合で含まれているため、体への吸収がスムーズです。

パン食よりもごはん食

食欲が落ちやすい夏場に、おすすめなのはごはん食。茶碗1杯分のごはんには、コップ半分(およそ90ml)の水分が含まれています。

！お湯を注ぐだけ！パパッと簡単レシピ！

梅干しと昆布の即席お吸い物(2人分)

- 【材料】 梅干し(小) ————— 2個
 とろろ昆布 ————— ひとつまみ
 かつお節 ————— ひとつまみ
 みょうが ————— 1本
 めんつゆ(2倍濃縮タイプ) — 小さじ4
 熱湯 ————— 400ml



- 【作り方】 1. 梅は種をとって半分にし、みょうがは千切りにします。
 2. お椀に材料をすべて入れる。熱湯を注ぎ、かるくかき混ぜてできあがり。

梅の酸味が胃腸を刺激し、消化液の分泌を促し、食欲がわいてきます。夏バテ予防におすすめのお吸い物です。

まつおか けんいち

松岡慶一さん「憲法記念日知事表彰」受賞

(大阪キリスト教青年会常議員・社会福祉法人大阪YMCA理事長などを歴任)

松岡慶一さんが、大阪府知事から青少年活動の普及向上に貢献した功労者の一人として表彰を受けられました。

5月7日(木)に大阪国際会議場ホールで行われた表彰式にて、松井一郎大阪府知事から表彰状を授与されました。



まつの ごろう

松野五郎さん「瑞宝双光章」叙勲

(大阪キリスト教青年会常議員・堺YMCA運営委員などを歴任)

松野五郎さんが、春の叙勲において国や自治体、公職に長年従事した功労者の方に贈られる瑞宝双光章を受章されました。



お二人は長年に渡り、大阪YMCA会員として様々な活動にご奉仕いただいております。この度の授賞、心よりお喜びいたします。

第266回 大阪YMCA早天祈祷会

日 時 … 2015年6月19日(金)7:30~8:30

証 し … 安田 哲也さん(日本基督教団東梅田教会 奏楽担当)

場 所 … 大阪YMCA会館 10階 チャペル

問合せ … 大阪YMCA 本部事務局 総務

TEL:06(6441)0894 E-mail:info@osakaymca.org

■ 会員・賛助会員としてのご協力に感謝申し上げます。

2015年4月度報告

【新規会員】

浦西 美佐
 奥 美結希
 杉村 康
 辻本 協子
 中尾 菜里彩
 中村 遥菜
 西田 拳一郎
 水嶋 佑芽
 味吉 智大
 劉 俞伶

紺谷 隆
 神谷 尚孝
 川岡 由加
 川岸 清
 川添 貴子
 北村 知三
 木山 敦子
 櫛辺 悠介
 小森 敬久
 齋藤 中哉
 酒井 哲雄
 阪口 温子
 坂本 かおり
 佐古 利子
 佐古 至弘
 卜田 真一郎
 條 イサヨ
 末岡 祥弘
 杉原 知恵
 杉前 英里
 岩間 みどり
 宇都宮 垂穂
 遠藤 通寛
 大島 佑香

田村 麻衣
 丹吾 礼
 陳 佳怡
 津野 忠昭
 寺川 克
 長尾 文雄
 中村 勝吾
 中村 隆幸
 西野 陽一
 西牧 駒威
 西村 博子
 二宮 聡
 野村 忠彦
 芳賀 義昭
 兵頭 加奈子
 福永 嘉彦
 藤好 基子
 堀 真由美
 前田 彩実
 前田 康司
 前田 貴史
 松浦 孝次
 松倉 幸作
 松下 達男

【継続賛助会員】

株式会社
 朝日新聞社 大阪本社
 共栄社化学株式会社
 有限会社
 サイテックエンタープライズ
 株式会社
 ジャパンビバルージュエスト
 株式会社
 神鋼ヒューマン・クリエイト
 株式会社西島製作所
 日東化成株式会社

ご寄付に感謝申し上げます

青少年育成活動支援のために、大阪YMCA会員の松岡慶一さんよりご寄付をいただきました。大切に用いさせていただきます。ご支援に感謝し、ご報告させていただきます。

次号の大阪青年7・8月合併号は
 7月中旬頃発行予定です